

女性活躍推進業務〔予算額 3,844千円〕		文化芸術部男女共同参画課 女性活躍推進班(23 - 6222)
財源内訳	一般財源 3,844千円	
支出内訳	2款2項3目 男女共同参画費 / 講師等報償金 999千円、事業協力者報償金 81千円、普通旅費 7千円、消耗品費 54千円、 イベント開催委託料 1,923千円、ワーク・ライフ・バランス推進委託料 780千円	

【事業概要】

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づき、女性が職業生活においてその能力を十分に発揮し、活躍できる環境づくりとともに、性別を問わず、職業生活と家庭生活の円滑かつ継続的な両立を可能とするため、ワーク・ライフ・バランスの推進を行います。

新たな取組

【主な事業内容】

■ 女性が活躍するための支援

- ・働きたい全ての女性への就労支援 あいちマザーズハローワークと共同による
(仮称)マザーズ・りぶら・カフェの開催
 - ・育休中・育休復帰後における不安解消のための支援 (仮称)ワーママカフェの開催
 - ・事業所見学による就労への不安解消 企業訪問バスツアー
- 等、様々な支援を行います。

■ 事業所への啓発・支援

- ・女性の活躍、ワーク・ライフ・バランス推進等働き方改革に関するセミナーの開催
- ・女性の活躍、ワーク・ライフ・バランスに取り組む意欲のある事業所に専門家を派遣し、ロールモデルの構築



姉妹友好都市交流業務(予算額 8,150千円)

市民生活部国際課
国際班(23 - 6656)

財源内訳	諸収入28千円、一般財源8,122千円
支出内訳	2款2項6目 都市交流諸費 / 都市交流事業委託料 8,150千円

平成29年度に岡崎市と中華人民共和国呼和浩特市(フフホト)市の友好都市提携30周年を迎えます。周年記念事業として、4月に呼和浩特市使節団の受入れを行い、その返礼として7月に岡崎市公式使節団を呼和浩特市に派遣します。

呼和浩特市使節団受入れ

- 概要：呼和浩特市公式使節団及び市民訪問団を受け入れる。
- 日程：平成29年4月8日～10日(予定)
- 内容：家康行列に参加、市長表敬訪問、市内施設視察、歓迎夕食会等
- 訪問者：約20名

記念品制作・輸送

- 概要：友好都市提携30周年の記念品として、岡崎市の伝統工芸品である石製品を贈る。

呼和浩特市の紹介

昭和62年8月10日に友好都市提携。人口約300万人の内モン古自治区における政治、経済、文化の中心都市。

公式使節団派遣

- 概要：岡崎市公式使節団が呼和浩特市を訪問する。
- 日程：平成29年7月6日～10日(予定)
- 内容：記念品除幕式、表敬訪問、呼和浩特市内視察、草原での交流
- 参加者：市長、議長、議会会派代表、随員職員等

呼和浩特市位置



地域防犯カメラ設置事業補助業務(予算額 15,000千円)

市民生活部安全安心課
生活安心班(23 - 6219)

財源内訳	一般財源 15,000千円
支出内訳	2款2項2目 安全安心推進費 / 地域防犯カメラ設置事業費補助金 15,000千円

●事業概要

地域が行う自主防犯活動の補完のため、防犯カメラを設置する学区総代会に対して補助金を交付し、犯罪の抑止を推進します。

交付先：学区総代会

補助率：5分の4（同一年度上限300万円）

補助対象経費：防犯カメラ本体、
設置工事費、看板



防犯カメラ
作動中

地震対策アクションプラン策定業務(予算額 5,127千円)

市長公室防災危機管理課
危機管理班(23 - 6533)

財源内訳 一般財源 5,127 千円

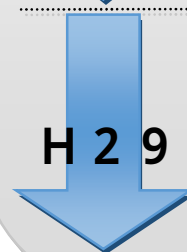
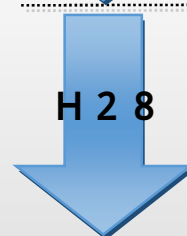
支出内訳 9款1項4目 災害対策費 / 地震対策アクションプラン策定委託料 5,127千円

南海トラフ巨大地震対策を的確に推進するため、減災目標を明確化し、目標達成のための具体的施策を行動計画として取りまとめた、「岡崎市地震対策アクションプラン」を策定します。

【アクションプランの内容】

- 減災目標の設定
- 災害予防対策の具体的施策と実施計画
- 災害応急救助対策の具体的施策と実施計画
- 災害復旧・復興の具体的施策と実施計画
- 重点的に取り組むプログラム

【策定スケジュール】



庁内検討会・有識者会議の開催



市民アンケート、関係法令等の整理、
地震対策進捗管理、中間報告書作成

対策事業期間・減災目標の設定、
パブリックコメント実施、計画書作成

災害対策設備整備業務(予算額 97,760千円)

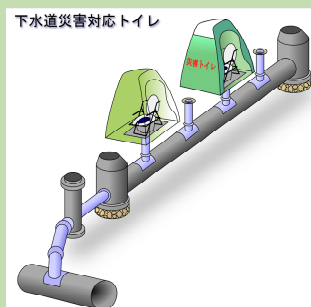
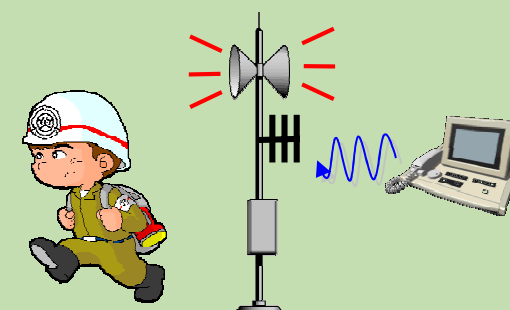
市長公室防災危機管理課
防災対策班(23 - 6712)

財源内訳	国庫支出金 5,700千円、県支出金 3,000千円、地方債 23,000千円、一般財源 66,060千円
支出内訳	9款1項4目 災害対策費 / 消耗品費 15,301千円、防災情報機器等更新委託料 18,029千円、路上浸水監視装置運用保守委託料 3,500千円、防災行政無線整備検討調査委託料 3,240千円、備蓄倉庫整備工事請負費 12,899千円、自家用発電設備設置工事請負費 29,722千円、機械器具購入費 2,763千円、下水道災害対応トイレ築造工事負担金 12,306千円

災害発生に備えた防災拠点の強化及び通信体制の強化

事業内容

- 防災行政無線整備検討調査
- 防災倉庫設置・備蓄物品の購入（葵中学校、福岡中学校、竜南中学校）
- 自家用発電設備設置（北部地域交流センター：岩津支所）
- 下水道災害対応トイレ築造工事負担金（矢作西小学校、高年者センター岡崎）



期待される効果

- ・ 緊急情報などの情報伝達体制の更なる強化
- ・ 被災者支援（避難所生活）体制の向上
- ・ 地域防災拠点の強化

拡充	総合雨水対策事業 (予算額 135,194千円) 総合雨水対策計画策定業務 始め3業務合算	土木建設部河川課 総合雨水対策班(23 - 6057)
財源内訳	一般財源 135,194千円	
支出内訳	8款4項1目 河川総務費 / 総合雨水対策アクションプラン策定委託料 17,820千円、止水板設置費補助金 5,000千円 8款4項3目 河川新設改良費 / 消耗品費 4,698千円、浸水対策検討委託料 45,360千円、河川整備検討委託料 43,200千円 浸透施設検討委託料 16,416千円、浸水対策施設設計委託料 1,620千円、総合雨水対策施設工事請負費 1,080千円	

- 気候変動により増加する大雨に対し、市民・事業者・行政が一体となった効率的で効果的な浸水対策に取り組むための**総合雨水対策事業**を推進し、水害に対して**安全安心なまちづくり**の実現を目指します。

総合雨水対策計画（平成 28 年 7 月）

『大雨から“いのち”と“暮らし”を守る』

～ みんなで力を合わせ、水害に負けないまちをつくる ～

30 年確率降雨から“暮らし”を守る

30 年確率降雨（時間最大雨量 70mm 程度）に対して、床上浸水被害解消
「平成 20 年 8 月末豪雨」相当の降雨から“いのち”を守る
「平成 20 年 8 月末豪雨（時間最大雨量 146.5mm）」相当の降雨に対して、
人的被害“ゼロ”



平成 29 年度の取り組み内容

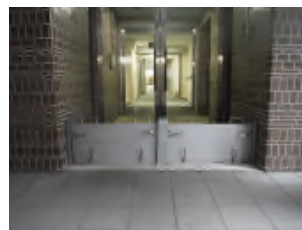
- 具体的な対策を定めるアクションプランの策定を進めます。
- **自助・共助活動をサポートするソフト対策**として、**止水板設置補助**などを新たに展開します。
- 浸水箇所での効果的なハード対策の検討など、今後に向けた対策の検討を進めます。
- **水害リスクが高い地区の公表**と周知啓発による浸水被害軽減への取組を推進します。

止水板設置補助

新たな取組

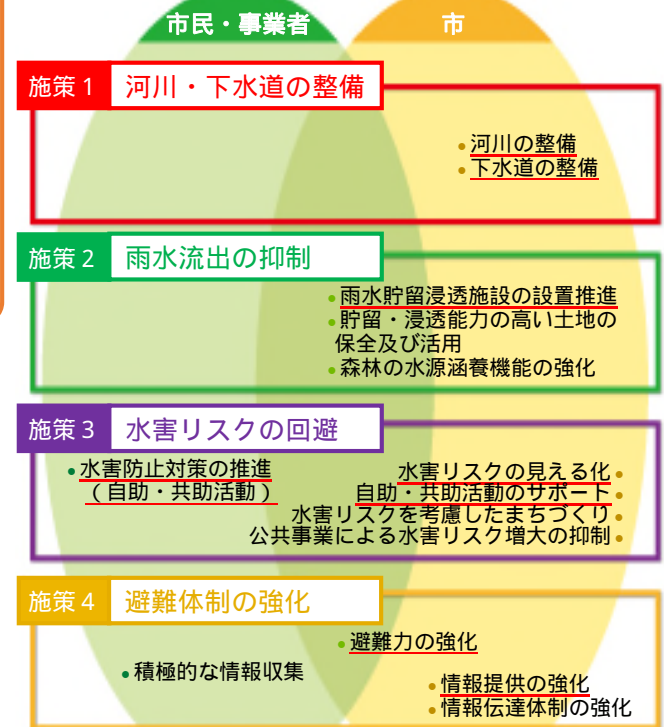
- 住宅での浸水被害を、入口で防ぐための止水板設置補助を始めます。

設置事例



岡崎市役所・西庁舎

基本施策メニュー



下線の施策について、新たに展開、検討を進めます。

河川・排水路改修事業(予算額 850,005千円) 上地新川改修業務 始め5業務合算

土木建設部河川課

工事班(23-6614)・施設管理班(23-6235)

財源内訳	国庫支出金 14,000 千円、市債 495,000 千円、一般財源 341,005 千円
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費 / 河川改修工事請負費 493,231千円、排水路改修工事請負費 17,476千円、測量設計委託料 46,064千円、 樋管改築工事負担金 170,000千円、事業損失補償金 21,792千円、電柱移設補償金 11,400千円、水道管移設補償金 79,350千円、 ガス管移設補償金 4,200千円、下水道管移設補償金 6,492千円

- 台風や集中豪雨による浸水被害を軽減し、地域の排水能力・生活環境の向上を図るため、河川及び排水路の整備を行うとともに、流域での浸透事業による雨水流出抑制を進めます。

【主な河川改修事業】

- ・準用河川 上地新川 (道路横断暗渠工 1箇所)
- ・準用河川 六斗目川 (橋梁改築 1橋)
- ・広田川関連排水対策 (樋管改築工事負担金)

改修前



改修後



一級河川広田川の改修(愛知県施工)と連携して河道改修を進めています。



【主な排水路改修事業】

- ・浸透型排水路整備(測量設計・工事)

● 主な事業箇所

イワダレ草



自然に配慮した川づくりに努めています。



上地新川改修業務

消防指令システム共同整備業務(予算額 902,380 千円)

消防本部総務課
経理班(21 - 9846)

財源内訳 市債 385,000千円、分担金及び負担金 218,640千円、一般財源 298,740千円

支出内訳 9款1項3目 消防施設費 / 特別旅費 38千円、消耗品費 380千円、器具取付委託料 265千円、地図等作成委託料 540千円、システム整備委託料 888,409千円、システム整備施工監理委託料 6,610千円、設備撤去委託料 150千円、データ作成委託料 648千円、通信指令室改修工事請負費 5,340千円

事業概要

現行の消防指令システムの更新に合わせた平成30年度からの幸田町との消防指令業務共同運用実施に向け、運用に必要な消防指令システムを共同で整備します。なお、共同運用後も岡崎市が出動する範囲は、岡崎市内となります。

事業スケジュール

平成28年度：消防指令システムの構築に必要な設計業務
平成29年度：消防指令システム整備業務

消防指令システムとは

119番通報を受け付け、迅速な出動指令を行います。
また、災害現場には、様々な支援情報を提供します。



通報受付

災害種別
決定

発生場所
決定

出動隊
編成

出動指令

出動

災害現場

通報受付

119番通報を受信すると災害発生場所を瞬時に特定して地図上に表示します。

出動指令

自動的に指令書、音声及びディスプレイで指令内容を各署所に伝達します。

災害現場

災害が発生した建物の面積や構造等のほか、所有する危険物の情報などの災害活動に必要な支援情報を現場へ伝達します。

出動

車両搭載の車両運用端末により、災害地点周辺の地図や指令内容を表示。
他の車両の位置情報や消防水利等の消防活動に必要な情報を表示。



消防自動車等購入業務(予算額 335,175千円)		消防本部総務課 経理班(21 - 9846)
財源内訳	市債 215,000千円、一般財源 120,175千円	
支出内訳	9款1項3目 消防施設費 / 特別旅費 65千円、自動車リサイクル手数料 60千円、自動車損害保険料 188千円、機械器具購入費 24,827千円、 自動車購入費 309,666千円、自動車重量税 369千円	

近年の複雑多様化する各種災害に対応するため、はしご付消防自動車をはじめとする消防車両等を更新し、安全で安心な市民生活を支援します。

消防自動車等を更新配備

事業の概要

はしご付消防自動車	1台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
救急自動車	2台

以上を更新計画に基づき更新配備します。

